

科目名称	小児看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	15
担当教員	井ノ上眞由美	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

小児期の正常な成長・発達の特徴、対象である子どもについて理解するとともに、子どもを取り巻く環境の影響や法律を知り、小児看護の役割と機能について理解を深める。

【2】学習目標

1. 小児看護の変遷を学び、看護の対象・目的・役割を理解できる。
2. 小児期の特徴と各期の成長・発達について説明できる。
3. 子どもと家族を取り巻く環境や制度・法律を理解し、小児看護の機能と役割がわかる。
4. 母子保健、小児保健のあり方について説明できる。
5. 小児期の順調な経過促進と健全な成長・発達を支える援助の方法を理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児看護の概念 発達段階と発達課題	講義
2	小児の成長と発達①	講義
3	小児の成長と発達②	講義
4	小児の栄養と食事	講義
5	小児看護における倫理 病気や入院が小児に与える影響	講義
6	小児と家族を取り巻く社会	講義
7	小児看護の特徴と理念	講義
8	筆記試験	

【5】評価方法

筆記試験（90%）態度や提出物（10%）で総合的に評価します。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

【7】参考書

浅野みどり：根拠と事故防止からみた小児看護技術，医学書院

【8】受講生へのメッセージ

子どもの各期の成長・発達について、身体的・心理的・社会的な側面の特徴を学習していきます。また、インフォームド・コンセント、プレパレーションについて事例を基に学習していきましょう。